

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業			事業番号	007-039
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	—	施策	—
		無	取組の方向性	—		
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう		ターゲット	5.1
	有	取組	男女共同参画に関する啓発			
	有・無	指標名	—			
	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	<ul style="list-style-type: none"> 第4期さかい男女共同参画プラン（改定）【計画年度：平成24年度から令和3年度】 第2次堺市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画（DV防止基本計画）【計画年度：平成30年度から令和4年度まで】 				
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検年度	令和 5 年度		
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	<ul style="list-style-type: none"> 堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例 堺市男女共同参画交流の広場規則 				
事業の概要						
5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁				
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	全市民	対象数	823,731	単位	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	男女共同参画社会の実現に向けて活動する個人やグループの活動支援を行い、相互交流を促進することを目的としている。また、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人が、その不安や悩みを相談し、気持ちや感情を整理することでいきいきと自分らしく生きていきかけをつかむための相談先を確保することを目的とする。				
8	事業内容（目的を達成するための手段）	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画に関する活動をする市民グループの活動やネットワークづくりのための交流の場・活動の場としてオープンスペースを提供することで、男女共同参画に関する情報を収集し、広く市民に提供する。また、図書・ビデオ（DVD）の館内閲覧や貸出などによる情報提供を行う。 ○相談業務（カウンセリング業務）については、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱える女性を対象とした「女性の悩みの相談」、同様に悩みを抱える男性を対象とした「男性の悩みの相談」を実施する。 ○DV被害者同士が安心して自らの悩みや体験を語り合うことで、被害者自身の気持ちや感情を整理し、DV被害からの回復を図る「DV被害者サポートグループ」事業を実施する。 ○男女共同参画交流の広場に関する情報を掲載した情報紙「ひろばだより」を年2回発行する。 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	有限会社フェミニストカウンセリング堺				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	件	実績		目標
				令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1,780	1,200	1,200
				1,120	1,163	1,300
				達成率	63%	97%
	当該指標を選定した理由	施設の利用によりグループ活動やネットワークづくりのための交流・活動の場を提供できた人数を確認することができるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	第4期さかい男女共同参画プラン（改定）の指標として掲載。新型コロナの影響により、令和2年度から大人数の施設利用を制限しているため目標値を見直している。R3目標値は緊急事態宣言解除後のR2実績（月平均利用者数100人×12か月）をもとに算出。R5目標値は施設の利用制限を段階的に緩和することを想定し、設定。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績		目標
				令和2年度	令和3年度	令和4年度
				462	517	514
				372	445	
				達成率	81%	86%
	当該指標を選定した理由	相談に対応することで、自分らしく生きていきかけをつかむための機会を提供でき、年間利用者数の増加に寄与するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	女性の悩みの相談・男性の悩みの相談の最大件数（年間）。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業	事業番号	007-039
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	6,907	7,071	7,217	6,858	6,910
13財源内訳					
国支出金		59	70		72
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	6,907	7,012	7,147	6,858	6,838
14人件費 (b)	1,620	1,640	1,640	1,640	1,640
15年間経費(c)=(a)+(b)	8,527	8,711	8,857	8,498	8,550

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16事業費内訳	印刷製本費	R3 決算	24	24		R3 決算	
		R4 予算	21	21		R4 予算	
	通信運搬費	R3 決算	40	40		R3 決算	
		R4 予算	52	52		R4 予算	
	男女共同参画交流の広場運営業務委託料等	R3 決算	6,747	6,747		R3 決算	
		R4 予算	6,747	6,747		R4 予算	
	その他備品購入費	R3 決算	47	47		R3 決算	
		R4 予算	90	18		R4 予算	
		R3 決算				R3 決算	
		R4 予算				R4 予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 年間利用者数	人	1,120	1,163
② 上記①にかかる年間経費	千円	8,711	8,498
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,778	7,307
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

令和3年度は1,163人の様々なグループや個人が当施設を利用した。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による施設の休館や利用人数制限により、コロナ禍前の状況と比較すると年間利用者数は減少している。単位あたりの経費が昨年より減少しているのは、令和3～5年度の委託契約時に業務内容を精査し、委託料を減額したことによるものである。

18 また、相談業務については、令和3年度より相談枠数を増やしているが、女性・男性とも高い利用率となっており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるDV被害の増加等が社会問題となっている背景から、コロナ禍においても平常通り面接相談を実施している。女性相談については、希望者は電話相談可とするなど柔軟に対応しており、安心して無料で相談できる行政の窓口として欠くことのできない事業となっている。今後も、SNS等様々な手法を用いて情報発信を行い、施設の認知度向上と利用者数の増加に努める。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 以下の取組により、「ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう」に寄与していると考える。

- 男女共同参画に関する活動を行う市民グループに活動やネットワークづくりのための交流の場を提供し、市民の男女共同参画に対する意識醸成に寄与することができた。
- 相談事業では、相談者から寄せられる様々な悩みに対してジェンダーの視点を持ってカウンセリングを行っている。
- DV被害者サポートグループ事業では、DV被害者の自立や心身の回復を図るために、被害者同士が自らの悩みや体験を語り合う交流会を実施するなど、相談者自身による問題の解決と心身の回復の支援につなげることができた。